令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果について

宮崎小学校

令和８年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

本校では、調査結果を学力の一側面として捉え、児童質問紙の結果と合わせて分析を行い、今後の教育活動の改善に生かしていきます。

本校児童のよさ

調査結果や質問紙の回答から、本校児童には次のようなよさが見られました。

①学習に粘り強く取り組む姿勢

国語では 87.5%、算数では 91.7%の児童が「最後まで解答を書こうと努力した」と回答しており、最後まであきらめずに取り組もうとする姿勢が見られました。

② 教師との信頼関係と自己肯定感

「先生は自分のよいところを認めてくれている」と回答した児童は 91.7%でした。

また、「自分にはよいところがある」と感じている児童も多く、安心して学習に取り組むことのできる土台が育っていることがうかがえます。

③ 学習内容を理解しようとする意欲

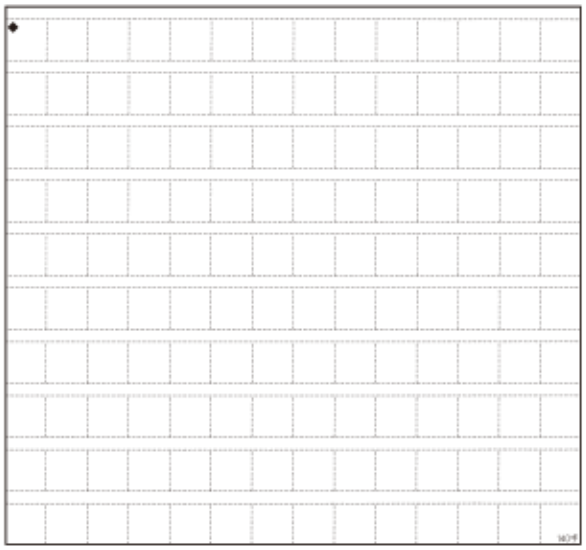
質問紙では、「授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が高く、学習に前向きに取り組んでいる様子が見られました。

本校児童の課題

一方で、国語・算数ともに、**「必要な情報を整理し、根拠をもって説明する力」**に課題が見られました。

国語

例えば、「集めた情報の中から必要な内容を選んで書く問題」「文章の工夫や意図を説明する問題」において、県平均を下回る結果が見られました。



※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

〈条件〉
○ 【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
○ ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ（「　」）でくくること。
○ ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
○ 百四十字以内にまとめて書くこと。

【花山さんの文章の続き】

4　すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そでででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、［　　］

5　終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

（参考文けん）

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

四　花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、［　　］に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

算数

例えば、「表や資料から必要な情報を読み取り、その根拠を説明する問題」「分数や割合について理由を説明する問題」において、県平均との差が大きく見られました。

(3) AとBの2つのペンギンの広場があります。
下の表は、広場にいるペンギンの数と広場の面積を表しています。



広場にいるペンギンの数と広場の面積

	ペンギンの数（羽）	面積（m²）
A	10	20
B	12	30

ことねさんは、どちらの広場の方がこんでいるのかを調べるために、下の計算をしました。

【ことねさんの計算】

A　10 ÷ 20 = 0.5
B　12 ÷ 30 = 0.4

【ことねさんの計算】をもとに、どちらの広場の方がこんでいるのかについて、下のようにまとめます。
下の **ア** と **イ**、**ウ** と **エ** の中から、正しいものをそれぞれ選んで、その記号を書きましょう。

【ことねさんの計算】は［ **ア**　1 m²あたりのペンギンの数 / **イ**　1 羽あたりの面積 ］を求めています。
商を比べると［ **ウ**　商が大きいAの広場 / **エ**　商が小さいBの広場 ］の方がこんでいることがわかります。

(3) たいがさんたちは、**【ルール3】**で遊ぶことにしました。

【ルール3】
①引いたカード3枚のうち、2枚を □ に当てはめて分数をつくります。

$$\frac{\square}{\square}$$

②大きい数をつくった方が、勝ちです。

たいがさんは、3　4　7　を引きました。



$\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ では、どちらの方が大きいですか。下の **ア** から **ウ** までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。
また、その記号を選んだわけを、数や言葉を使って書きましょう。

ア　$\frac{7}{3}$ の方が大きい。
イ　$\frac{7}{4}$ の方が大きい。
ウ　$\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の大きさは等しい。

これらの問題は、単に知識を覚えているかどうかではなく、「必要な情報を選ぶ」「複数の情報を比較する」「根拠をもとに説明する」といった力が求められる問題です。

質問紙から見える本校児童の姿

質問紙調査からも、学力調査の結果と関連する傾向が見られました。

例えば、「自分と違う意見について考えるのが楽しい」「人と違う意見を言っても否定されないと思う」「自分の考えが伝わるよう工夫して発表した」「算数で考え方を説明する活動をよく行った」「ICTを活用して情報を整理できる」といった項目は県平均を下回っていました。これらの項目は、どれも上記の課題で示した**「必要な情報を整理し、根拠をもって説明する力」**との関連が見られます。

その一方で、「課題の解決に向けて自分から取り組む」「学習した内容を振り返る」「友達との話し合いを通して考えを深める」などの項目は比較的高い結果でした。これらの項目は、学習の土台となる大切な要素となるため、主体的に学習に取り組む意識が高いことがうかがえます。

今後の学校の取組

本校児童は、これらの結果から、学習に意欲的に取り組むことができていることが分かりました。今後は、そのよさを生かしながら、**自分の考えを整理し、根拠を示しながら表現する力をさらに伸ばしていきたい**と考えています。

そこで、本校では全学年を通して「必要な情報を整理し、根拠をもって説明する力の育成」を重点として取り組んでいきます。

具体的には、

・文章や資料、表やグラフから必要な情報を選び取る活動
・根拠や理由を明確にして話したり書いたりする活動
・友達と考えを伝え合い、比較・検討する活動
・ICT を活用した情報整理や発表活動

の充実を図っていきます。

ご家庭へのお願い

子どもたちの学びを支えるためには、学校と家庭が連携して取り組むことが大切です。ご家庭でも、「どうしてそう思ったの？」「その理由を教えて」「どこからそう考えたの？」など、お子さんの考えを聞く機会をもっていただければ幸いです。

また、「本や新聞、インターネットの記事について話し合う」「ニュースや身近な出来事について考えを伝え合う」「調べたことをまとめたり説明したりする」などの経験は、子どもたちが情報を整理し、自分の考えに根拠をもって表現する力を育むことにつながります。ご家庭でもその機会を少しでも設けていただければと思います。

今後も、学校と家庭が連携しながら、子どもたち一人一人の成長を支えていきたいと考えています。引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。